

認知症とは？

○様々な疾患によって引き起こる状態をいいます！

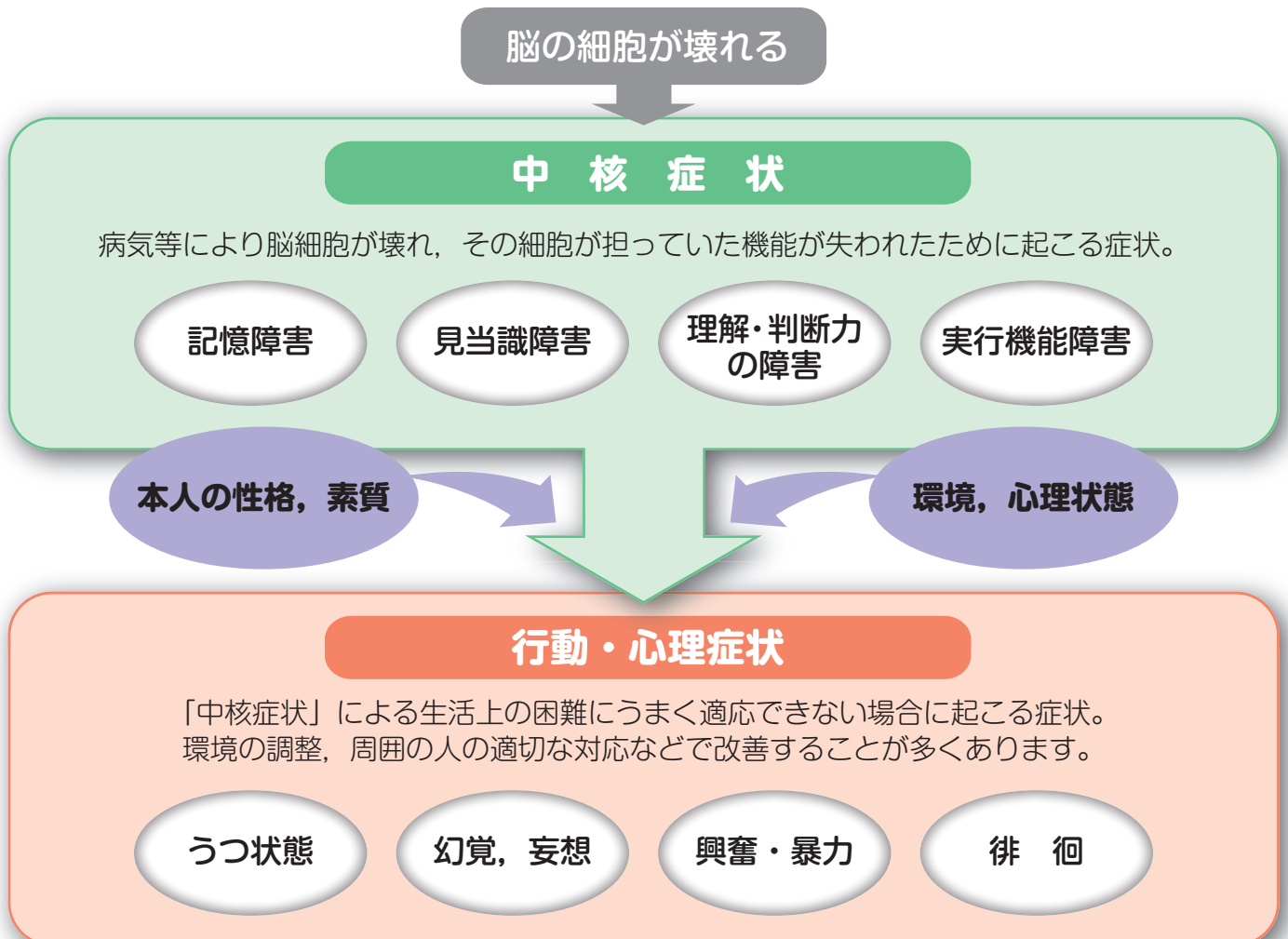
「認知症」とは、いろいろな原因で脳の細胞が壊れてしまったり、働きが悪くなったために様々な障害が起こり、生活する上で支障が出てくる状態をいいます。

認知症になると、もの忘れが出たり、時間・季節・場所の感覚がわからなくなったりします。また、認知症は、高齢期だけの病気ではなく、誰もが発症する可能性があります。

■ 原因疾患

● 変性疾患 脳の神経細胞がゆっくり壊れて萎縮する	アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症など
● 脳血管障害 脳の血管が詰まって一部の細胞が壊れていく	脳梗塞、くも膜下出血、脳出血、脳動脈硬化など
● その他	外傷性のもや薬物の影響によるものなど

「中核症状」と「行動・心理症状」があります。



認知症は早期受診が重要です。

- 適切なケアや薬の投与で症状の進行を遅らせることができます。
- 治る病気や一時的な症状の場合があります。
- ご本人の自己決定権を尊重することができます。
- ご家族等が早い段階から病気の正しい知識を持つことによって、より適切な対応ができます。

「認知症」早期発見のチェックリスト

- 「今までとは違う」「何となくおかしい？」
あなたのまわりに、気がかりな方はいらっしゃいませんか？



- 同じことを何回も話したり、尋ねたりする。
- 物をなくしていつも探している。
- 日時や場所を間違えるようになった。
- テレビや洗濯機など電化製品の扱いがわからなくなった。
- 自分で食事の用意ができなくなった。
- 買物での金銭のやりとり、貯金の出し入れができなくなった。
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった。
- ふさぎこんで何をするのもおっくうがり、いやがる。
- 前よりも怒りっぽくなったり、疑い深くなったりした。
- 同じものばかり食べたり、同じ時間に決まった行動をする。
- (現実ではない) 虫や動物、小さい子供や人が見えると言う。
- 歩きにくい、転びやすい、手足がふるえるなどの症状がある。

※日常生活でみられる、認知症が疑われる言動をまとめてみました。
個人差もありますが、いくつか思い当たることがあれば、早めに医療機関等に相談しましょう。

受診するときのポイント

●ご家族などの付き添い

できるだけご本人の日常生活を知っているご家族などが付き添うとよいでしょう。

●メモの持参

「おかしい」と感じた変化や症状、日常生活で困っていることなどを具体的にメモして持参しましょう。

●病歴の確認

ご本人がこれまでにかかった病気、治療中の病気、現在、服用している薬などを確認しておきましょう。
(お薬手帳があれば持参しましょう。)



認知症への適切な対応は？

認知症の人への対応の心得

“3つの「ない」”

① 驚かせない

唐突な声かけは禁物です。やさしい口調でおだやかに話しましょう。

② 急がせない

認知症の人は急かされるのが苦手です。相手のペースに合わせてみましょう。

③ 自尊心を傷つけない

ご本人に恥をかかせないようにすることが大切です。

それとなく手助けをして成功体験に結びつけることができれば笑顔も戻ります。

● 若年性認知症とは？

65歳未満で発症する認知症を「若年性認知症」と呼ぶことが多く、18歳から44歳に発症した場合を若年期認知症、45歳から64歳（または45歳から59歳）までに発症した場合を初老期認知症とされています。

その数は全国で3万8,000人※と推計されています。働き盛りで発症するため、仕事上のミスが重なって、離職を余儀なくされるケースもあります。経済的に困窮するだけでなく、社会参加の場もなくなって、本人・家族が孤立する場合もあり、職場や地域社会の理解と協力が何より大切になります。

※(若年性認知症の実態と対応の基盤整備に関する研究(研究代表者 朝田隆) 報告書(平成21(2009)年3月)から)

認知症の相談窓口

認知症が気になったら、すぐに相談しましょう！認知症であっても早期発見・早期治療により自分らしく暮らすことができます。



オレンジドクター

- オレンジドクターは、広島県が認定した「もの忘れ・認知症相談医」です。
- このプレートがある医療機関には、認知症に関して、気軽に相談できるオレンジドクターがいます。
- ご本人はもちろん、ご家族からの相談もお受けします。

医療の相談

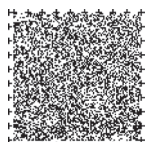
オレンジドクター，認知症疾患医療センター

介護の相談

地域包括支援センター，市町認知症担当課
認知症の人と家族の会，オレンジアドバイザー

広島県地域包括ケア推進センター，若年性認知症コールセンター

- 広島県のホームページで紹介しています。
[<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/>]
トップページ⇒健康・福祉⇒認知症・虐待防止対策⇒認知症対策



これは音声コードです

目の不自由な方の情報提供を目的に作られたものです。この音声コードを、活字文書読み上げ装置で読み取らせると、音声で読み上げます。



広島県 健康福祉局 高齢者支援課

電話(082)513-3201 FAX(082)502-8744

電子メール fukoureishien@pref.hiroshima.lg.jp